

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	2 総務費	課・係名			
基本目標		暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	安全安心な村づくりの推進	項	1 総務管理費	総務課			
					目	1 一般管理費	総務係			
事業通番	事業名	防犯対策事業			予算額			決算額		
121105					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	防犯灯の新設及び維持管理、防犯カメラの維持管理を行う。 防犯関係団体への負担金や会費、支援金を支出し各団体との事業連携を図る。			事業費	2,428	428	2,856	事業費	2,798
			財源内訳		国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金		0		県支出金	
					地方債		0		地方債	
					その他		0		その他	
					一般財源	2,428	428	2,856	一般財源	2,798
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
内容		事業費(円)	内容・成果							
防犯灯新設		429,506	<ul style="list-style-type: none"> <li>区要望の防犯灯設置 5基 (中町、柳久保、小見、大町、中村)</li> <li>交通事故現地調査検討会指摘箇所への設置 1基 (庚)</li> </ul>							
防犯灯維持管理		1,231,585	<ul style="list-style-type: none"> <li>各集落間にある村管理の防犯灯(130基)の維持管理</li> </ul>							
防犯カメラ管理		988,130	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラ12基の維持管理 (蛭川信号、ローソン横、保育園、ケヤキの森、上木島信号、農村交流館、観光交流センター、総合グラウンド上、糠千分館下、小学校下、中学校上、瑞穂木材前)</li> </ul>							
防犯協会分担金		148,699	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯水岳北防犯協会分担金</li> </ul>							
合計		2,797,920								
■ 課題及び今後の取組み										
施設老朽化による故障が多発している。(防犯灯15基(302,236円)、カメラ1基修繕(141,680円))定期的に点検を行い適切な施設管理に努める。										

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	区要望の防犯灯の新設					灯	5	5	100%	B	防犯灯の新設について、計画通り実施できた。防犯パトロールは、各課で当番職員を割り振っているが、パトロール車（公用車No.2）が他業務で使用するなどして実施できなかった日がある。
	事故現地調査会指摘箇所への防犯灯新設					灯	1	1	100%		
	防犯パトロールの実施（毎週火曜金曜、年92回）					回	92	68	74%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	防犯パトロールは役場職員だけでなく、多くの関係者により実施願いたい。非連担として村設置の防犯灯の確りした管理を願いたい。
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	2 総務費	課・係名
基本目標	暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	安全安心な村づくりの推進	項	1 総務管理費	総務課
				目	8 交通安全対策費	総務係

事業通番	事業名	交通安全対策事業	予算額			決算額	
121701	事業目的	住民の安心・安全を守るための交通安全事業を推進する。	当初予算額	増減額	予算現額	事業費	2,040
		事業費	2,250	0	2,250	国庫支出金	
		財源内訳				県支出金	
		国庫支出金		0		地方債	
		県支出金		0		その他	124
		地方債		0		一般財源	1,916
		その他	213	0	213		
		一般財源	2,037	0	2,037		

事業の内容及び成果・今後の課題

■事業内容及び成果

内容	事業費(円)	内容・成果
交通災害共済（公費負担）	805,300	村民の方が一の交通事故に備えるため、東北信市町村交通災害共済への加入促進を行った。 なお、子育て世帯、高齢者世帯の負担軽減を目的に高校生以下、高齢者（65歳以上）の加入を公費負担としている。（中学生以下@200円×461人、中学生以下半額@100円×3、高校生以下@400円×122人、65歳以上@400円×1,660人） 加入率は、全体で76.2%、公費加入者を除いた加入率（一般加入率）は51.1%（対前年1.2ポイント）
飯水岳北交通安全協会活動資金補助金	73,000	飯山市、野沢温泉村、本村の上部団体である飯水岳北交通安全協会の活動費補助金
安協木島平支部補助金 各区交通安全推進協議会補助金	430,000	年に4回の交通安全運動（春 4月6日から15日、夏 7月22日から31日、秋 9月21日から30日、年末 12月15日から31日）、交通安全の啓発とイベント等の円滑な実施に向けた取り組みを行った。

- 交通指導員謝金（@5,000×35人） 140,000円
- 交通安全車管理費（リース、燃料等） 534,117円
- 村内における交通事故発生状況
- 保育園入園児啓発品 13,618円
- 交通災害共済業務処理委託料 44,000円
- 令和4年度 交通災害共済給付実績

	件数	死者	傷者
R3年	5件	2人	3人
R4年	4件	—	4人

	申請件数	給付件数	給付額
	1件	1件	22,000円

■課題及び今後の取組

交通安全協会の役員負担軽減を図るため、役員会において任期の短縮や啓発活動内容の見直しなど検討を進め、令和4年度中に負担軽減内容を取りまとめる。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	交通安全運動					回	4	4	100%	A	コロナ禍において、街頭交通指導や交通安全啓発などできる範囲で活動を行った。
	春の交通安全教室（小学校）					回	1	1	100%		
	交通死亡事故					回	1	0	0%		

評価委員評価

公共性	A	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	8 消防費	課・係名			
基本目標		計画に記載なし		施策	項	1 消防費	総務課			
					目	2 日常備消防費	総務係			
事業通番	事業名	予算額				決算額				
181201	非常備消防費	当初予算額		増減額	予算現額					
	事業目的 消防団の運営のほか各区における消防用品購入の補助などを行い、住民の安心・安全のための事業を行う。	事業費		35,299	585	35,884		事業費	32,798	
		財源内訳	国庫支出金		0			財源内訳	国庫支出金	0
			県支出金		0				県支出金	0
			地方債	2,700	0	2,700			地方債	2,700
			その他	5,779	▲ 347	5,432			その他	5,386
	一般財源	26,820	932	27,752		一般財源	24,712			
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員報酬 ※訓練手当出動手当等含む (12,574千円)</li> <li>・ 退職消防団員退職報償金13人分 (6,067千円)</li> <li>・ 消防団員公務災害補償基金掛金 (6,260千円)</li> <li>・ 消防施設整備事業補助金 (1,056千円)</li> <li>・ 消防軽積載車購入 (第7部) (3,377千円)</li> <li>・ 被服費や訓練消耗品、消防車修理費など需用費 (3,464千円)</li> <li>・ 団員の高齢化、団員確保が困難な状況を受け、消防団員の定数を削減する消防団条例の改正を行った。また、機能別団員制度を導入し、高齢団員の負担軽減を図った。</li> </ul> <p>○消防団活動実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行事・・・出初式、観閲式、ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を実施。</li> <li>2 啓発活動・・・春の火災予防、消火器の斡旋、夏祭りの花火警戒、秋の火災予防、年末夜警ほか</li> <li>3 災害出動件数・・・2件 (6/18中村区火災(倒壊プレハブ)、3/29内山区原野火災)</li> </ol> <p>■課題及び今後の取組</p> <p>地域防災の中核を担う消防団組織について、大規模かつ複雑多様化する災害及び少子高齢化による人口減少など、消防団を取り巻く環境が大きく変化してる。(新入団員の減、団員の高齢化、平日昼間の災害出動可能な団員の減少)</p> <p>条例改正により定員削減を図ったが、継続して定員、組織再編等の検討を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員数 (R5.1.8現在 定員296人⇒261人 実員：257人)</li> </ul>										

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	消防幹部会議の開催					回	5	5	100%	A	新型コロナの影響で消防訓練はできなかったが、それ以外は目標通り実行できた。
	消防部長会の開催					回	4	4	100%		
	消防訓練の実施					回	1	0	0%		
	救命講習会の実施					回	1	1	100%		
評価委員評価											
公共性	A	総合評価 (妥当性)	B	団員の負担軽減と災害対応の両立 人口減少に伴う定数と定年等の検討							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	8 消防費	課・係名		
基本目標		暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	安全安心な村づくりの推進	項	1 消防費	総務課		
					目	4 災害対策費	総務係		
事業通番	事業名	予算額				決算額			
181401	災害対策事業			当初予算額	増減額	予算現額			
	住民の安心・安全のための災害対策事業を行う。	事業費	2,922	0	2,922	事業費	2,707		
	事業目的	財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金		
			県支出金		0		県支出金		
			地方債		0		地方債		
			その他		0		その他		
			一般財源	2,922	0		2,922	一般財源	2,707
事業の内容及び成果・今後の課題									
<p>■事業内容及び成果</p> <p>防災無線や衛星携帯電話、Jアラートなどの維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場雨量計、防災気象システム保守管理、Jアラート保守管理 796千円</li> <li>・防災行政無線（48台）、衛星電話（2台）、震度情報システム、オクレンジャー利用料 1,561千円</li> <li>・県防災ヘリ協議会負担金、県防災行政無線保守管理負担金 350千円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時において、迅速な災害応急対策が実施できるように「職員防災初動マニュアル」の周知徹底を図るとともに、職員一人ひとりが災害対応に必要な知識と経験を確実に習得するため、必要な訓練・研修を実施する。また、本マニュアルについては、「職員の安全の確保」と「適切な災害対応」とが適正に両立できるよう、訓練や実災害での対応を踏まえ、随時見直しを行う。</li> <li>・災害時備蓄品の適時更新を行うとともに、備蓄品の分散備蓄を進める。</li> <li>・行政区単位の自主防災組織の組織化支援及び、災害時に村民一人ひとりがとるべき防災行動計画（マイタイムライン）の作成など村民の防災に対するソフト対策を推進する。（令和4年度 新規自主防災組織1団体、令和4年度末の自主防災組織総数10団体）</li> </ul>									

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
		村ぐるみ防災訓練の実施					回	1	1	100%	A	村ぐるみ防災訓練は、新型コロナの影響で職員のための避難所設置訓練を行った。行政区への出前講座はコロナにより実施がなかった。
		行政区への出前講座					回	1	0	0%		
		行政区長の防災研修					回	1	1	100%		
評価委員評価												
公共性	A	総合評価 (妥当性)	B	住民の防災意識の高揚を図ることが必要								
公平性	B											
有効性	B											
効率性	B											